

じゅん通信



市議会議員としてスタート！

4月22日に当選証書と議員バッジをいただき、4月30日から市議会議員川口じゅんとしての4年間がはじまりました。

GW明けから、6月定例会がスタート。

会派は「市民ネット宝塚」。5期目の北野聡子議員と寺本早苗議員、新人の田中大志朗議員と川口の4人のメンバーで、より暮らしやすい宝塚市のために協力して活動してまいります。

委員会は、「文教生活常任委員会」と「広報広聴委員会」の2つに所属することになりました。委員会については、次号で詳しく報告いたします。

議会レポート

-6月議会-

女性視点での防災について～宝塚市の現状は？

昨年も、豪雨被害、地震や台風など全国的な被害が相次ぎました。

東日本大震災からの避難者の立場、また現役子育て中の立場から、①液体ミルクの備蓄②アレルギー対応食の備蓄③通学路・散歩ルート of 安全点検について質問しました。

1 液体ミルクの備蓄は？

【回答】保存期間が6ヶ月から1年と備蓄品としては短く、値段も高価なため、今のところは備蓄予定はない。災害時には必要に応じ、協定事業者から入手して提供する。(市長)

【意見】関西圏では、大阪箕面市が液体ミルクの備蓄を決めている。市場に広く普及、流通数を増やすことが、価格を下げる一因になると思う。妊婦さん対象の母親学級、両親学級、4ヶ月健診や保育所の避難訓練の時などで、液体ミルクの利便性や備蓄の大切さの情報発信を。

液体ミルクとは

粉ミルクと違い、お湯で溶かす必要がなく、災害でライフラインがストップした時、過労やストレスで母乳がでなくなった時にとっても有効。常温で最長1年の保存が可能。

昨年の法改正により、国内製造、販売ができるようになり、現在は国内メーカー2社から販売されている。春に発売されてから、メーカー当初計画の3倍近い売り上げで、今後は自販機での販売も目指している。



2 アレルギー対応食の備蓄は？

【回答】全ての備蓄品がアレルギー対応食ではないが、在庫数を増やすよう取り組んでいる。(市長)

消費期限切れが近い備蓄食料は、出前講座や地域の各種訓練の炊き出しで使用してもらい、食品ロスを防いでいる。また子ども食堂や生活支援センターなど福祉の分野からの要請にも、できる限り応えている。(危機管理監)

【意見】自助の精神で、各家庭が自分たちで備蓄していくことが大前提ではあるが、災害はいつというタイミングで起こるかわからない。

アレルギーがある子どもだけではなく、持病により食事制限のある方、高齢の方など、食の要援護者と呼ばれる方々も含めて、誰もが安全に食べることができる備蓄をすることが望ましい。

3 子どもの安全に配慮した道路環境～大津の交通事故をうけて、通学路や散歩ルートの安全点検は？

【回答】教育委員会から各小学校に通学路の安全確認の実施を指示した。

結果を踏まえて、宝塚警察署などの関係機関と緊急合同点検を実施する予定。(教育長)

公立保育園で作成した安全対策マニュアルを私立保育所と共有。事故をうけて公立保育所所長会で、マニュアルの見直しを行っている。(子ども未来部長)

【意見】通学路にあるスクールゾーン(グリーンカラー舗装道路)のように、保育所や幼稚園の周辺の安全対策のため、キッズゾーンの導入を要望した。

好奇心いっぱいの小さな子どもたちが、これからも心豊かな子に成長していけるように、危険箇所には早急に対応、対策をして、私立と公立保育所間、また保護者とも情報共有をしていってほしいと伝えた。

市議会議員選挙を振り返って

「当選はゴールではなくスタートだ」という言葉どおり、1年生市議会議員として誠実に任務に取り組んでいるじゅんさん。ですが、初々しさよりも、頼もしさが勝っているように見えます。さすがです。

議会での初質問は、緊張しつつも、子どもの命を何よりも大切にする姿勢を貫き通しました。誇らしいです。

宝塚市にはたくさんの課題がありますし、社会全体には重苦しい空気が漂っていますが、じゅんさんらしく爽やかな風を吹かせて、課題を一掃し、何事にも負けずに頑張ってください。そして、中川智子市政に欠かすことのできない大事な市議として、存在感を高めて行って欲しいです。

引き続きみんなで応援して参りましょう。

津久井進（川口じゅん後援会会長・弁護士）



川口じゅん市議の一般質問を傍聴して

質問内容は、川口議員の「子育て女性の視点を届ける議員がない」という選挙中の訴えが思い起こされる質問であり、どのような議員になっていきたいか、また市民との約束を守っていく議員になっていこうという姿勢の見えるものでした。

党の仲間として最前目で見ずに、厳しい一市民目線で見ていこうと思いますが、そういう視点で見たとしても、今回の質問は非常に有意義であったと感じました。

立憲民主党 兵庫県政担当 中山ゆうすけ



編集後記

4月の市議会議員選挙では、皆さまの懸命なご支援をいただき、「川口じゅん」一期目の当選を果たすことができました。心からお礼を申し上げます。

地盤も組織もない新人の私が、今回の激戦を勝利できたのは、ご縁を繋ぎ、輪を拡げてくださった皆さまのおかげです。

選挙のあと、すぐに定例会が開会、委員会や会議が始まりました。そして引き続き、夏の参議院選挙…と忙しくも充実した日々を過ごしています。通信をお届けするまでに時間がかかってしまい、申し訳ありません。

「じゅんちゃんが選挙にでたから、子どもが生徒会に立候補したよ！」「こんなに身近な議員さんは、初めて」「初めて投票に行ってきたよ！」など、嬉しい声がたくさん届いています。

若い世代の皆さまにも身近な議員として、生活の中のリアルな問題を市政に届けていけるよう、4年間しっかり活動していきます。

今後、テーブルトークの場も設けていくつもりですので、お話しにいらしてください。

9月定例会は9月2日から始まります。一般質問は9月25日から9月27日ですので、ぜひ議場へ傍聴にお越しください。市庁舎4階に本会議場があります。外から見ると円筒型の部分が議場になります。事前受付はいりません。入り口で受付票をお書きになり、直接議場へお入りください。

川口じゅん

仲間募集！

川口じゅんを応援し、ともに活動してくださる仲間を募集しています。

後援会に入会してくださる方、通信を読んでいただける方、下記連絡先までご連絡をお願いします！

